

**JOJO'S BIZARRE ADVENTURE
STEEL BALL RUN
UNOFFICIAL FANBOOK**

LEAP INTO THE DARK



Leap In The Dark

*腐要素を含んだ内容となっております。ご注意ください



ウエカピポさん

オレあんたの事が好きなんだ…

最初にこんなことを言われたがまたいつもの戯言だと思いきこの時した返事は

はあ……

だった

しかし次第に奴の言動はエスカレートして行き

オレは最近ようやくこいつが本気なんだと理解した

すき
すき



大統領

マジエントと行動を共に
することに抵抗があるので
わたし一人で任務を
行いたいのですが
ご許可いただけますか



それは
わたしが困る
からだ

何故って

……
何故ですか



断る
♡



いいですか
大統領……

あの者は
わたしの足を
ひっぱります

現に任務に
支障を来たし報告に
遅れが生じたりと
大統領にご迷惑を
かけてしまっています



あなたの
お役に立てるかと



わたし
一人の方が



それは
.....

わかりません



ウエカピポよ

わたしが何故
君達を組ませたと思う



知つての通り
マジエントは一人だけ
では役に立たない

だが奴の凄みは
如何なる攻撃も
一切通らないところ

正に『最強の鎧』だ

そして君はその鉄球の
衛星で相手の左側を遮断し
回転の技術で
如何なるものを貫く

『最強の剣』

いいか
『鎧は鎧だけでは戦えない』
『剣は剣だけでは身を守れない』
剣と鎧が揃って初めて戦える
だからわたしは君達を組ませたのだ



君は
物分りが
良くて助かる

はつきり言うが
君達が一番
欠けているもの……
それは『協調性』だ



……

つまり
互いを補う為に
組ませたと
言うことでしょうか



遺体回収は
君達の協力無しでは
成し遂げられない
いいか……
引き続き二人で
任務に当たれ

わたしは君達の力を
信じている



お言葉ですが

まずわたしには
あの者の言動を
理解すること

これは
命令だ

君が司令塔に
なれば良いのだ
君自身が奴を
理解すれば
自ずと着いて
来るだろう
奴は単純だ
飴と鞭で上手い
こと動かせば良い
とりあえず
任務に行くがいい

そんなに
悩むことも
あるまい



……はっ



しかし
不思議だな

わたしから見れば
無理に遠ざけよう
としている様に
見えるがな



本日の任務
 ज्याイロ・ツエペリ及び
 ジョニー・ジョースター
 の動向調査







……
何故こつちを
見ている

……



互いを理解
するように勤めろ

とは仰っていたが……
それが出来たら
苦労はしない……



オレは
こんな不毛な
任務をするより

ウエカピポさんを
見ていた方が
ずっと自分の為
になると思うわ

やだ



……さつき
言ったこと聞こえ
なかつたのか？
いいから黙つて
観察をしている

いやあ
ウエカピポさん
今日もかっこいいね



ん!?



お前は……
オレを……

こいつ
まじで
どうしてくれようか

見ろ

あいつら
怪しい動きを
していないか？

やはりここ
からでは見え
難いな…

望遠鏡を
貸してくれ…

マジエント

…ん？

あんたから
『オレを見ろ』
だなんて……
情熱的



なんだ

この
お粗末な
報告書は

他の調査隊
から君達が言い
争いをしてい
るのを
目撃したと報告
されているが

も……
申し訳ありません

……全て
わたしの責任
です……

こちらからでは
伺うことが
出来ませんでした

君達には
特別任務を
やろう

仕方あるまい
ならば今度は君達の
任務をわたしがみて
評価しようではないか

うーん……
まさかここまで
任務に支障が
出るとは……

……え？

本日の任務
晩餐会に出席する
大統領の護衛

あきららかに
支障が出てい
るとい
うのに
何故解散させない
一体何を考
えているんだ…

大統領自ら
オレ達を監視
するとは…

まさか…



このまま無事に
任務を終えることが
出来ればよいが…



—とりあえず

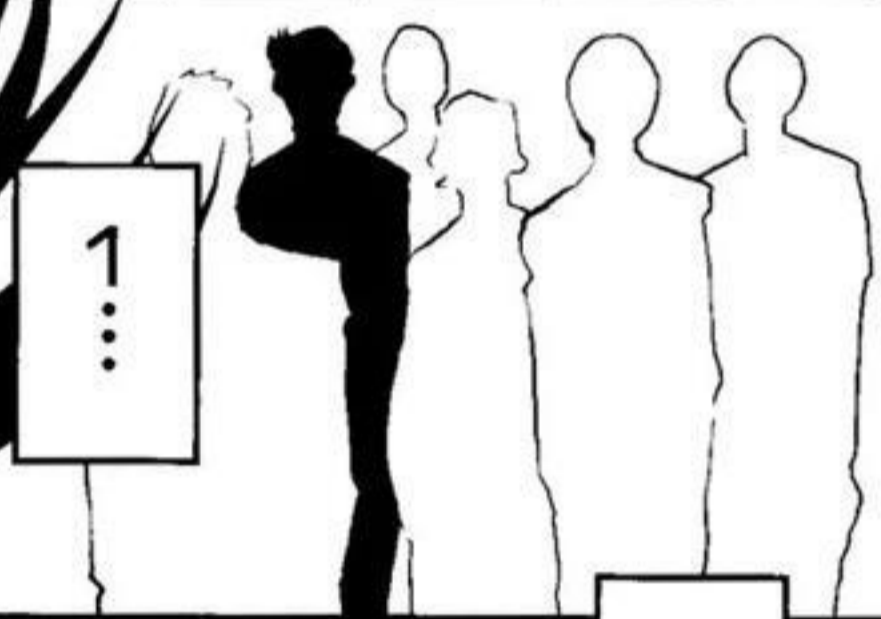
一
段落がついたな



ウエカピポ……



そもも行かない
ようだな



1:
…



2:
…

挙動不審の者が三名か…
明らかに他の来客とは
何かが違う
用心しなくては…

3:
…



マジエントオ...!

貴様アア
いい加減にしろツ！
お前は今の状況が
わからんのかア！

わっ



な...
なんだよ

ただの
茶目っ気だつてのに
そんなムキになん
なよなア...

ちよ...ツ！
待つてくれツ！

お前は...
どういうつもりで
こんなことを
するんだ

え...
なんとなくかな

...そうか
聞いたオレが
馬鹿だった

オレは絶対に
こいつと解散
してやる...

もう限界だ



大丈夫か!?
ウエカピポ!

今後ろに
敵が...!



なあ...
教えてくれ

どうしてお前は
オレの邪魔を
するんだ...



.....
ウエカピポさん?

.....



え?

...ん?
なんだ今の

ナニ言ってるん
のか聞こえな...

.....

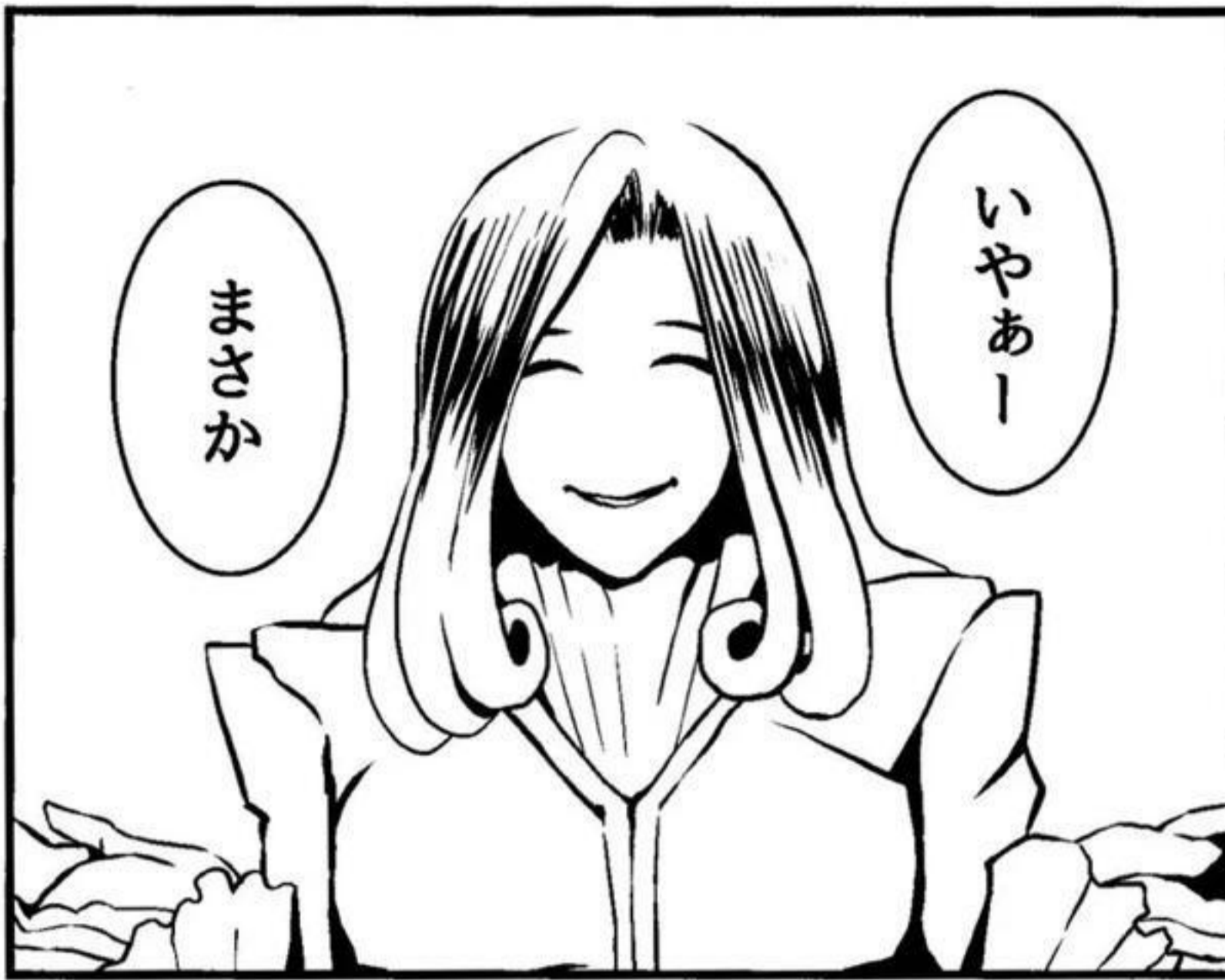
さあ
マジホント

…クソ
外したか

やはり
一瞬の間だけでは
正確に当てるのは
難しいな

だが次は
外しはしない

覚悟は
出来ているか？



あの晩餐会で
私が狙われていた
のは間違いないだろう

だが結果として
実行はされなかった
それは何故か

—マジエントだよ
彼が常に私の背中を
守っていたのだ

あの騒ぎだって
狙ってやったのだろう
注目されては
手が出せないからな

しかしそれでは
敵をみすみす
逃したという事に

それで
いいではないか
今回の任務は
あくまで『護衛』だ

マジエントの場合は
君の護衛まで
やってのけたがな



あの場で
刺客が動いたら
どうなっていた？

いくら君といえど
私を守ることが任務で
ある以上自分を
犠牲にする
可能性もあった
違うか？



お、仰って
いる意味が…



結局は何も
見えていなかった
のか…



オレは

なんでも見えて
いたつもり
だったが



おっと…
つい話しすぎて
しまったようだ
ではわたしは
失礼する



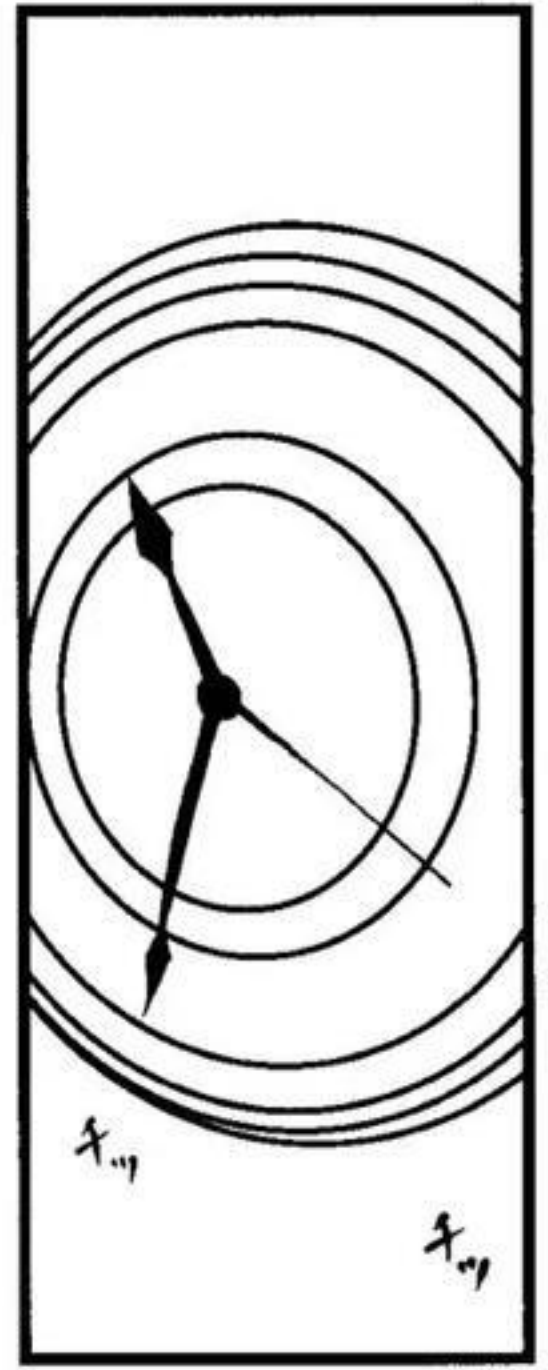
では今度こそ
失礼する

……



いや…
何も恐れず前だけ
見たいればいいのでは
ないだろうか

何故なら
君は『最強の鎧』を
身にまとい
ているのだから



一応手加減は
したつもりだが…



かなりの時間
経つが目覚めないな



…おい

マジエント
起きたのか？

ひ…

大丈夫か？

ふ…

う…

…

う…



独りに…
しないで…

ウエカピポ…
ごめんなさい…

もう…
我儚言わない…

困らせたり…
しない…
だから…



お前は本当に
自分勝手な奴だ

馬鹿で貪欲で
我儘で天邪鬼で
駄目なところしか
思い浮かばない



何を
言っているんだ



今まで冷たい態度を
とってきたが
それは任務が最優先で
あったから…

…嫌いじゃあない



なのに何故だ

今まで好きとか
そういうのは考えた
こともなかったが
今考えてみたら



ああもういいか…

オレ自身こうなるとは
思ってもいなかった

お前は絶対にこれからも
オレの邪魔をし続けるのだらうな

だがそれでいいんだ
いやそれがいいんだ
何故ならそれが
オレが望んでいたものの
ひとつだとようやく
気付いたからだ

だからもう先のこと
で悩むのはやめにしよう
たまには流れに身を任せるのも
悪くはないんじゃないだろうか
オレはこの時そう思った

LEAP_IN_THE_DARK

重ヶ月ひきつ



CIRCLE: 八千 / 缶詰

TWITTER_ID: ustikin

ADDRESS: hachinoko.network@gmail.com

DATE_OF_PUDLICATION: 02/02/2014

PRINT_SHOP: 株式会社 栄光

LEAP IN THE DARK



AN EFFICIENT LAMBOOK
STEEL-BUILT-BOMBS
1010.2 BIZBUBBE ADVENTURE